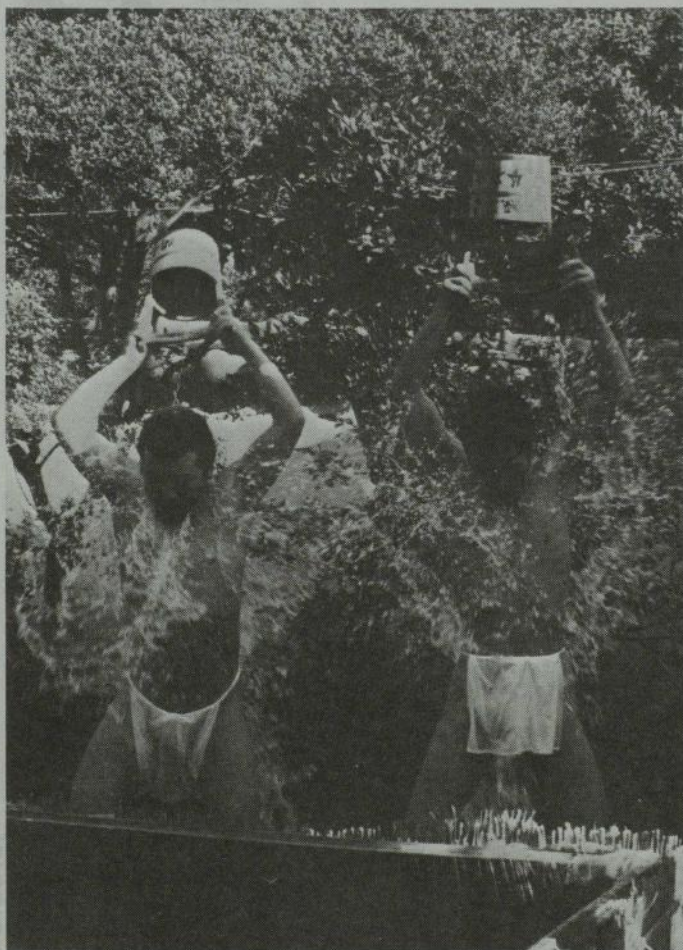


No. 265

# 全仏

1/56



## 「フウ」の音

おめでと〜いございます。元日の空に勢いよく風が上がっている光景を見るにつけ、今年も一年が始まるのだと覚悟を新たにいたします。昨年の全仏は、特別委員会のラッシュで追いまくられ、腰をすえて仕事が出来なかつたような気がいたします。今年も仏教界にとりまして問題が山積しており、決

して楽な一年ではないでしょう。しかし、それらの諸問題の吉しみの中に全仏が本来進んでゆくべき道が示されているのだと思つと、あたら安易な対応はゆるぎされないでしょう。全仏としてどうしても進めてゆかねばならない問題にルンビニ開発があります。昭和五十三年の第十二回WFB日本大会において決議され、仏教徒一人一が募金を提唱し運動を進めてまいり

ましたが、具体的成果は何一つ上つておりません。世界三大宗教のうち聖地が荒れたままになっているのは仏教のルンビニだけです。私達仏教徒は、一日も早く宗派の垣を越えてルンビニ開発に協力せねばならないのではないのでしょうか。全仏だけではなく政界、財界の協力をいたしながら今年こそ前進させたい決意です。(N)

行

シリーズ⑨

大荒行 (日蓮宗)

(解説16面に)

全日本仏教会

# 56年の新春を迎えて

## 使命達成にご協力、ご道愛を



会長 秦

全日本仏教会会長 秦 慧玉

新春を迎えるにあたり、心から慶賀の意を表し、各位の御健勝を祈念することにも、内外の諸情勢に仏教徒として、あやまりなきを期してまいりたいと存じます。

わが国は経済発展をこげ、国土の繁栄と国民生活の向上は驚歎すべきものがあり、今や世界各国より炯眼視されておりますが、この発展には多くの犠牲の上に成り立ってきたもので、物質面にも、精神面にも多くの深刻な問題として現われております。特に青少年非行などの社会問題は倫理道徳面の欠如ともいわれ、精神面の充実強化は仏教徒の使命であり責務であります。

また、世界に目をむけますと、カンボジア内、イラン・イラク戦争など、世界

平和は掛声だけという実情であります。こうした中であって、アンコールワットやカンダラーラ仏教遺跡などが戦禍にあつたなど様々の問題が当面し、その解決を求

## 諸問題に全力投球

全日本仏教会理事長 鱈淵 正浩



理事長 鱈淵

昭和五十六年の新しい年を迎えることになりました。全仏理事長にご推薦をいただき一年、駄馬にむち打ちまして努力してまいりました。

全仏といいたしましては諸問題が山積みされておりますが、各宗派、県仏、団体のご協力を得て、全仏機構改革委、同和特別委、センター設立委、ルンビニ開発

めております。WFB大会においても、「平和と調和に向って実践する」との決議がなされましたが、大いに努力せねばなりません。

同じく決議されましたルンビニ一完全復興への協力についても、仏教出現の故園復興は、私達仏教徒の責務と考え、今春、私も現地ルンビニ一の視察をいたす予定でございます。聖地復興につきまして、この運動のより一層のご協力をお願い申し上げる次第であります。

年頭にあたり、本来の使命達成のために各位のご協力、ご道愛を切願いたしましてご挨拶いたします。

準備委などの委員会において解決にあたるべく全力投球を続けております。その他に、税制問題や全仏大会の開催、未加盟県仏、檀信徒の組織化など故拳に限りありません。皆様方の格別のご協力をお願い申し上げます。

第二十七回の全仏大会では、八十年代の仏教の在り方をさぐるべく討議がなされました。また、第十三回WFB大会では、現代生活における仏教の実践などが論議されたわけでございますが、激動する社会情勢を的確にふまえて、これらの討議を糧とし、時代の要請に応えられるよう、仏教徒が一丸となって努力精進を誓いたいものであります。

# 謹賀新年

財団法人

## 全日本仏教会

会長 秦 慧玉

副会長 山田 恵諦

上野 頼栄

藤井 実応

理事長 鱈淵 正浩

### 常務理事

中里 徳海 四宮 正音

阿部 野龍 小沢 照禧

林 亮海 武田 裕彦

田中 亮三 豊原 大潤

芝原 郷音 五辻 実誠

宮部 幸鷹 後藤 純一

岡田 巳成 松村 寿顕

桜井 大乗 貝山 宣泰

岩崎 鳳栄 原田 良道

山本 杉 中山 理々

森田 禅朗 塩入 亮達

長谷川 靈信 橋本 隆応

浅川 義雄 岩城 秀雄

安井 俊雅 高島 興誓

本間 義博 勝

# ことしは「国際障害者年」

## テーマ 完全参加と平等

### 理解、納得、協力が必要

今年「国際障害者年」です。これは国連が一九七六年の第三十一回総会において、一九八一年を「国際障害者年」とすることを全会一致で決議し、婦人年、児童年に続く大プロジェクトで、「完全参加と平等」をテーマに障害者の身体的精神的適合の援助などを世界の規模で推進するものです。

一口に障害者といっても、障害の程度状況も種々であり、交通事故、精神障害耳や目の不自由な人、慢性マヒ、公害や薬害による障害と色々ですが、その数は世界で四億人と推定されています。日本でも対策費の増額や、いろいろな計画がなされ実行に移されますが、やはり正確な実態の把握がまず必要であり、特にきめ細かな施策が望まれます。

経済保障、労働、生活環境、医療、教育など問題は山積み状態であり、障害者に対する偏見や差別感もぬぐいきざられておらず、本当の福祉といわれる道はまだ遠いものがあります。

テーマである「完全参加と平等」の実現には、これら山積みされた問題解決とともに、より啓発して国民一人一人の理解と協力が最大限必要です。全盲で教師資格を取得した人、三重苦を闘いぬいた人、手足のマヒを克服した

#### 国際障害者年

#### テーマと目的

「完全参加と平等」です。「参加」とは社会生活そのものと、その発展への貢献のみならず、政策決定段階への障害者の参加を意味します。「平等」とは他の国民と同じ生活を送ることであり、またその国の社会経済の発展による利益の平等な配分を受けることです。

#### (目的)

- 一、障害者の社会への身体的および精神的適合を援助すること。
- 一、障害者に対して適切な援護、訓練

人等、苦勞と努力を重ねた言葉の中に、「人々の善意と協力、そして連帯に支えられた」があります。しかし「同情でなく、正しく理解してほしいと思う」という声は、我々に何を求めているかを示唆しています。

仏教界でも、東北福祉大や日本福祉大での福祉推進や、点字、アイバンク運動などボランティア活動を地道に奉仕している人も多く、また宗派で障害者問題に理解を深め活躍をされているところもあるが、まだまだ一部の僧侶の自覚にたよっている現状です。「一切衆生の苦しみ、自からの苦しみを」との自覚をもち、より一層の理解が望まれます。

治療および指導を行ない、適当な雇用の機会を創出し、また障害者の社会における十分な適合を確保するため国内および国際的努力を促進すること。

一、障害者が日常生活において、実際に参加すること、例えば公共建築物および交通機関を利用しやすくなることなどについての調査研究を奨励すること。

一、障害者が経済社会および政治活動の多方面に参加し、および貢献する権利を有することについて、一般の人々を教育して情報を提供すること。

一、障害者の発生予防およびリハビリテーションのため効果的施策を推進すること。

岩	植	小	横	大	土	本	松
脇	松	西	井	石	持	場	浦
宏	威	日	鶴	好	良	大	勝
信	成	静	州	文	栄	龍	道
			塚	高	広	阿	沼
			田	倉	川	部	田
			賢	正	芳	博	惠
			照	信	雄	邦	範

#### 事務総局

東京都港区芝公園四ノ七ノ十三  
〒一〇五 〇三四三七九二七五

- 事務総長 日野照護
- 事務次長 小野元雄
- 総務局長 加藤海晃
- 組織局長 勝部定昭
- 国際文化局長 安本利正
- 全仏派遣コーディネーター  
WFB事務局長 小谷 亀太郎
- 他 職員一同

#### 関西事務局

- 京都市右京区花園妙心寺町  
妙心寺宗務本所内
- 事務総長 千坂精道
- 組織部長 堀井隆俊
- 国際部長 小林忍戒
- 文化部長 梶原隆也
- 教化部長 広島昭也
- 審議部長 小泉宗和
- 総務部長 二株明生
- 他 職員一同

第13回

世界仏教徒会議開く

創立30周年記念

タイ大会：二百名が参集



④各国からの代表を集めてにぎやかな開会式。⑤は全体会議に出席の上野首席代表（中央）

世界仏教徒連盟（WFB）創立三十周年を記念する第十三回世界仏教徒会議は「現代生活における仏教の実践」をテーマとして世界四十の加盟センターから約二百名の正式代表、オブザーバーが参加し、タイ国のバンコ

ク市とチェンマイ市を会場として、十一月二十一日より二十九日まで、十日間にわたり開催された。日本からは、上野頼栄現下（全仏副会長、真言宗智山派管長、勝部定昭全仏組織局長、山本スギ全日本仏教婦人連盟理事長、安本利正全仏国際文化局長、磯山福正全仏文化部長の五名が、代表団として参加した。またWFB本部執行委員で

ある鎌田全仏国際部長の代理として、市村承業氏が参加した。

会議は、それぞれお国からの衣装をまとった僧俗一体となった代表団が、二年ぶりの再会を喜びあう和やかな雰囲気の中で、幕があげられた。全仏加盟諸団体より寄せられた八百万円のカンボジア難民救援金は各国代表団の拍手の中開会式冒頭、上野頼栄全仏副会長より、寄付者名簿とともに、WFB会長ブーン氏に手渡された。開会式には、全仏前会長大谷光真現下、中山理々氏も、来賓として参加された。

十日間にわたる会議は、各国代表団により終始熱心な討議が続けられ、役員の変更、提出議題の採択、大会宣言の採択など、当初の予定を滞りなく消化をして二十九日の閉会式を迎えた。

今回はまた特に「現代生活における仏教の実践」の大会テーマについて、ジョン・プロフェルド氏（英国）司会のもと、K・S・ファンク氏（カナダ）、市村承業氏（日本）、S・ナヴァンアング氏（タイ）、K・H・ゴットマン氏（独）の四氏によりパネル・ディスカッションが行われ、僧俗それぞれの立場における仏教者の実践のあるべき姿が模索された。

総じて、仏教国タイならではの心のこもった歓迎を受けて各国代表団は帰途についたのであるが、WFB本部の運営も、今回の大会の運営も、その多くをタイ政府の援助に頼っている現状を考えると、WFBの財政的基盤の確立こそ急務であ



それぞれお国の衣装で参加の総会

## ルンビニー復興など四項目

### 大会宣言

十一月二十二日より二十八日にかけてタイ国バンコク市、チェンマイ市で開催された「第十三回世界仏教徒会議」はタイ仏教会およびタイ仏教の共催で行なわれ、参加せる世界各地の代表は、WFB憲章にのっとり仏教徒間相互提携、友愛を増進し、人類の平和と調和を現成すべく確信し主張するものである。

ることを痛感させられたのは、日本代表団のみではないであろう。然しながら、それに応えるだけの財力という点、今回の大会で加盟団体の年会費が、五十ドルから百ドルに値上げされたが、この会費すら滞りがちな加盟団体の現状を見ると、今後のWFBの方向に一抹の不安を感じざるを得ない。

過去十二回の大会において、いくつもの決議が採決されているが、それらが十二分に執行されたとはいえない。これも、WFBの財政的基盤の弱さに、その源を見出すことができるのであろう。

釈尊生誕の聖地ルンビニーの開発についても、ネパール代表のロック・ダルシヤニ氏より総会の席上において、アピールがなされたが、これも、巨額の費用の必要とされる計画であり、東南アジア諸国の現状と照らし合せて考えると、日本

現代世界情勢を念頭に、我々は一九七八年に日本大会での宣言にある二カ条を支持することを繰返して申しのべる。

一、我々は世界共同体を達成すべしという最終目的に沿い、平和と調和に向って実践すべく、世界における他の宗教的人道の組織とも共同して努力する。

一、我々は、釈尊生誕地ルンビニーの完全復興に協力する。

東南アジア地域における悲惨なおよびたいしい難民問題や、イデオロギーの衝突

として、どこまで協力するのか、できるのか、慎重に検討されなければならない。しかしながら、国、風俗、習慣のちがいを越して、世界の仏教徒が、一堂に会し、会議を催す意義は高く評価されなければならない。WFBの経済的基盤の確立、大会における決議事項の執行など、

焦眉の問題について、東南アジア諸国の目は、世界有数の富める国、教育立国の国、日本に対して、強く注がれている。WFBの将来のあるべき姿について、日本仏教徒の果たすべき役割は、今後、ますます、大きくなることは間違いないところであらう。

なお、WFB本部事務次長として、バンコクにおいて、長期間にわたり苦勞いただいている小谷龜太郎氏に対して、上野副会長親下より感謝状と記念品の贈呈がなされ、同氏の多年の勞を謝したこ

から生づる混乱と動揺する人心の、現代世界情勢に深く関連して、我々は更に次のように宣言するものである。

①我々は、苦難にあえぐ不幸な難民の苦痛をわらわけるべく、可能な限りの援助に最善の尽力をなし、彼等を故国へ帰すべく、安全と警備を保障し、宗教の尊厳と、基本的人権、言論の自由を共有するよう、世界のすべての国々に対してアピールすることを決意する。

②我々は、宗教的实践と人道上の援助は究極の宗教的達成と人類生活の改善を助長する、確固たる精神の創造に貢献するものと確信するものである。

とを付記する。

### 採択された案件

本大会において採択された案件は左記の通り

一、役員(任期四ヶ年)

会長 ブーン・ピスマイ・ティスクル (妃殿下(タイ))

副会長 〇秦慧玉(日本)

〇サンヤ・ダルマサクティ(タイ)

〇S・ミヤバラ(米国)

〇クー・リオン・フン(マレーシア)

〇ビット・ケン・フィ(シンガポール)

〇S・D・デリコフ(ソ連)

〇フサン・キン(韓国)

〇J・イチンホロ(外蒙古)

〇アムリタナタ(ネパール)

〇アルバート・エディリシンゲ(スリランカ)

〇アキイ・トジエトジェ(インドネシア)

〇R・S・ガウイ(インド)

常設委員会委員長

一、財政委員会

アキイ・チュイチュイ(インドネシア)

二、出版・広報・教育・文化・芸術委員会

L・G・ハイゲ(スリランカ)



タイのダンスを踊って一行を歓迎する子供たち。

- 三、布教委員会
- 四、A・エディング（スリランカ）
- 五、人道奉仕委員会
- 六、安本利正（全仏国際文化局長）
- 七、団結と運帯委員会
- 八、クロー・レオン・フン（マレーシヤ）
- 九、青年委員会

ブンヨン・ボンクウアニイク

(タイ)

執行委員会委員

- 一、〇デー・テン・チュー（マレーシヤ）
- 二、〇スタンレイ・ウィリアム（スリランカ）
- 三、〇スナオ ミヤバラ（アメリカ）

### ○全仏国際部長（日本） 採択された決議

日本提出議題

一、全世界で救援を必要とする人々に対して、敏速な救援活動を行うために、W、F、B、本内部に、「救援奉仕事務局」RELIEF SERVICE OFFICE」を設置し、加盟センターからの基金を統括し、敏速な救援活動を行うこと。

二、仏陀の教えは、時代を越えて、それぞれの国において、様々な展開をして、今日に至っている。このことは、仏陀の教えが、それぞれの地域においてその時の状況に応じて、社会で起きた様々な問題に対して、適切な対応をしてきた結



熱心な討議が展開される科委会

果であることは間違いない事実である。しかしながら、今日、世界の仏教徒にとって、最も必要とされることは、様々なに解釈され、適用されてきた仏陀の教えを、世界中の仏教徒が、理解し合うことであろう。

そのために、奇跡、迷信、他の宗教に対する考え方、女性の地位、戦争の危機、貧困、科学、自然資源の減少、人口増加などなどについて、加盟センターはそれぞれのセンターの考え方を提出し、出版すること。

三、今日難民救援活動にとって、最も肝要なことは、難民の生活の自立である。特に両親を失った子供たちにとって、この自立は、大変難しい状態にあり、この点に関して、まだまだ仏教徒の救援活動は十分とはいえない。この観点から、救援を必要としている子供に対して、教育資金の援助と、里親運動を実現する。

四、前回の大会において、継続審議となっていた仏陀暦の件は、W、F、B本内部に特別委員会を設置し、再度、問題の研究と、その可能性について、研究することとなった。

他センター提出議題

◎財政委員会

一、W、F、B本部の運営費用の増大をまかなうため、加盟センターの年間費を五十ドルから百ドルに値上げする。

◎出版・広報・教育・文化・芸術委員会

一、世界が直面している様々な問題に対して、加盟センターのみで、その解決手段を模索するのみでなく、全世界の仏

教指導者と学者による国際会議を催すとともに、必要な地域に対して、親善調査団を任命すること。

二、全世界における仏教遺跡崩壊の危

## 次回開催地はインドネシア

### ◎布教委員会

諸国の幾多の要請にのべられているが、我々にとつて、最も緊急なことは、仏教の実践を国々に広めることにある。そのために、布教のパンフレット、本、講義などを用意していかねばならない。学校も必要である。我々は、それぞれのセンターの責任において、その基金を調達すること。

### ◎人道奉仕委員会

一、カンボジア難民の悲惨な状況にかんがみ、困連をはじめ、その他の関係機関

機にかんがみ、困連とユネスコに対して文学者と考古学者により構成される委員会を設置することを要望し、ぬつて、遺跡の実態の調査と、保護にあたること。

に、カンボジア難民が、母国に帰り、自分の信条に従つて、生活できるように、訴えること。

### ◎団結と連帯委員会

一、戦争を防止し、世界平和に資するため、平和を愛好する宗教団体のみならず非宗教団体との関係を深める、文化団体との交流を進める、仏教僧侶を派遣し、指導にあたること。

### ◎青年委員会

一、友好、親善、団結に資するために、青年仏教徒の国際交流計画を組織すること。具体的には布教、文化、芸術、青年仏教徒の活動の交流を最重点とすること。

二、「国際青年の年」のための具体的な青年の計画を作成するためにスリランカ仏教青年会による国際仏教青年会議を一九八一年、スリ・ランカにおいて開催すること。

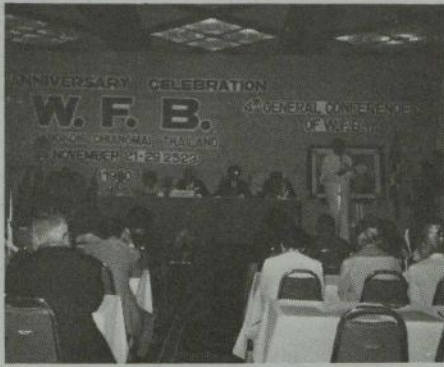
三、様々な伝統と言語のもとにある仏教書を適切に保有するために、本部に、国際仏教図書館を設置すること。

第十四回W.F.B.大会開催地

一九八二年 インドネシア

(F・I)

数々の成果をあげて迎えた閉会式



## 荒廃するパゴダの修復を

### ビルマ仏蹟巡拝団報告

第十三回W.F.B.タイ大会を記念し、全仏では大会の開会式参加とビルマ仏蹟巡拝を行なった。摩尼団長(全仏文化専門委員)、中村事務局長(全仏財務部長)等一行十六名は、十一月二十一日に出発し、バンコクでのW.F.B.大会開会式に出席したあと、二十四日ビルマのラングーンに到着した。以下は中村部長より報告である。

ビルマはちょうど乾期で、一年中で一番氣候の良い時という事でしたが、暑くて目まいのするほどでした。二十五日に仏蹟の町バガンに飛行機で移り、四百万個といわれるパゴダの一部を見学。

.....

灼熱の太陽と風で、赤茶けたパゴダは雑草がのびほうだいで廃居同然です。しかし空港からホテルに向う途中でみる無数のパゴダや寺院の林立は、その昔しの賑わいを想像させられます。

中でもマナーンダ寺院とタツピンニユー寺院は最も大きな建築物で、白亜の偉容が、まわりの今にもくずれ落ちそうになっているパゴダと奇妙なコントラストをかもし出しています。

これらの寺院を参拝するときは、靴下もぬいで素足になり、土の上を歩かねばならないので、慣れない私たちにはかなりの苦痛でした。御本尊は金色の身丈十メートルはあろうかという大仏像で、どの

仏様も両手をひろげ、手のひらを我々に向けて立っているのが何を意味するのか解かりかねた。

このバガンは、ビルマを南北に流れるイラワジ川の流域に開けた仏都で、現地の人々は、井戸を中心に部落を形成し、ヤシの葉で編んだ床の高い家に住んでいる。産業もこれといったものはなく、観光相手の漆塗みやげや、焼畑で大豆などを作っている。ビルマ式社会主義がその中にあり、品物の不足は深刻で、子供たちはやせこけている。人々の足は自転車、トラックで、街中のいたるところに糞がころがっていて異様な臭いである。

全体的にみてバガンの町は、一七八七年蒙古の侵入で亡んで以来、すべてのものが止ってしまった感じがする。民衆の信仰の中心であったであろう寺院も荒れるにまかせ雑草の中に建っている。

マンダレーには二十六日に移動し、チャウクタウギ・パゴダの巨大な大理石の仏像、シュエンンドー僧院のすばらしい彫刻、サガインの丘にある日本人墓地での回向などみな思い出深い。

ビルマは、ルビー、サファイヤ、金などの鉱物資源は豊富で、日本などの技術援助があれば大きく発展するでしょう。その前に、荒廃した仏蹟を何とか保存する方法はないものかと心を痛めたことを付記して報告を終わります。

# 年 新 賀 謹

## 曹洞宗宗務庁

管 長	秦 慧 玉
宗務総長	岡 田 巳 成
参 議	谷 北 俊 龍
”	梅 田 信 隆
教 学 部 長	田 中 亮 三
総務部長	阿 部 博 邦
財政部長	大 竹 明 彦
人事部長	藏 山 光 堂
伝道部長	乙 川 良 英
教化部長	朝 日 泰 峯
出版部長	小 川 義 道

東京都港区芝二一五一—二  
〒105 〇三(四五四)五四一一

## 真言宗豊山派宗務所

管 長	築 山 定 誉
宗務総長	久 保 埜 太 清
総務部長	高 山 宥 進
教化部長	吉 田 俊 誉
財務部長	鳥 居 慎 誉
教務部長	鴨 志 田 秀 純

弘法大師千五百五十年  
御遠忌記念事業事務局  
東京都文京区大塚五の四〇の八  
〒112 〇三(九四五)〇六三九

## 総本山醍醐寺 真言宗醍醐派宗務本庁

管 長	主 網 田 宥 秀
執行部長	岩 城 秀 雄
宗務総長	岩 城 秀 雄
執行部長	大 沢 自 聚
教 学 部 長	齋 藤 明 道
執 行 部 長	水 守 俊 英

京都市伏見区醍醐東大路二二  
〒601-13 〇七五(五七一)〇〇〇二

## 浄土宗西山深草派 総本山誓願寺

管 長	伴 義 台
宗務総長	山 本 勝 隆
総務部長	鶴 飼 慶 範
教 学 部 長	伊 藤 玄 法
本 山 部 長	中 村 恵 龍

京都市中京区新京極六角下ル  
校之町四五三  
〒604 〇七五(三二二)〇九五八

## 本山修験宗

管 長	岩 本 光 徹
宗務総長	斉 藤 本 隆
財務部長	伊 丹 光 淳
教務部長	二 階 堂 俊 良
庶務部長	宮 城 泰 年

京都市左京区聖護院中町15  
聖護院内跡内  
〒606 〇七五(七五一)六九八八

謹 賀 新 年

日蓮宗宗務院

管 長 金子 日威  
 宗務総長 塩田 義朗  
 宗 務 長 金山 寛成  
 副 総 長 加藤 海晃  
 総 合 企 画 部 長  
 庶 務 部 長 渋谷 直城  
 財 務 部 長 石井 隆教  
 教 務 部 長 巽 寿 円  
 護 法 伝 道 部 長 米田 淳雄  
 遠 忌 事 務 局 長 持田 貫宣  
 現 代 宗 教 研 究 所 長 中野 文海  
 参 与 伊保内 清応  
 参 与 草野 法界  
 東京都大田区池上一三三二一五  
 〒146 〇三(七五二)七八一

真言宗智山派宗務庁  
 総本山智積院法務所

管 長 上野 頼栄  
 宗務総長 小沢 照禮  
 寺 務 長  
 総 務 部 長 堀井 隆俊  
 教 学 部 長 高野 一能  
 教 化 部 長 吉野 快弘  
 法 務 部 長 佐藤 良盛  
 財 務 部 長 山内 隆敏  
 出 張 所 長 小峰 一允  
 別 院 執 事  
 京都市東山区七条東瓦町九六四  
 〒605 〇七五(五四一)五三六一

真言宗善通寺派  
 総本山善通寺

法 管 主 長 蓮生 善隆  
 宗 務 総 長 阿部 本宣  
 執 行 部 長  
 総 務 山 地 善 真  
 香川県善通寺市善通寺町六一五  
 〒765 〇八七(七六二)〇一一一  
 真宗高田派宗務院  
 宗 務 総 長 高島 広勝  
 総 務 織田 弘海  
 清水谷 正道  
 如來堂昭和太  
 修理事務局 望 月 光 照  
 三重県津市一身田町二八一九  
 〒514-01 〇五九(三三二)四一七一

孝 道 教 団

統 理 岡野 正貫  
 副 統 理 岡野 鄰子  
 横 浜 市 神 奈 川 区 鳥 越 三 八  
 〒221 〇四五(四三二)二二〇一  
 念法真教教団  
 総本山金剛寺  
 灯 主 小倉 靈現  
 大 阪 市 鶴 見 区 緑 三 一 四 一 三 一  
 〒538 〇六(九一一)二二〇一

年 新 賀 謹

真言宗御室派宗務所  
総本山 仁和寺

門管 跡長 立部 瑞 祐

宗務総長 橋 本 隆 応  
執行長  
御室事務局長

庶務部長 不 破 光 順

執 行 教 学 部 長 佐 藤 令 宜

執 行 財 務 部 長 西 本 善 雄

華 務 長 手 嶋 千 俊

御 室 事 務 局 長 大 林 実 昭

団 参 部 長 周 藤 真 雄

京都市右京区御室大内三十三  
〒616 〇七五(四六一)一一五五

真言宗国分寺派  
大本山国分寺

座 管 長 西 口 公 教

宗 務 総 長 足 立 有 教

大 阪 市 大 淀 区 国 分 寺 一 の 六 の 太  
〒531 〇六(三五)五六三七代

新義真言宗々務所  
総本山根来寺

座 管 長 加 藤 太 信

宗 務 総 長 広 沢 純 孝

根 来 寺 寺 務 長 田 村 海 寂

和 歌 山 県 那 賀 郡 岩 出 町  
〒649-02 〇七三六(二)一一四四

財団法人

埼玉県佛教会

会 長 岩 崎 鳳 栄

副 会 長 山 本 道 隆

江 連 俊 則

常 務 理 事 河 野 亮 永

浦 和 市 高 砂 四 一 三 一 一 八

〒336 〇四八八(六一)一一三八  
埼玉会館

千葉県仏教会

会 長 渡 部 日 皓

理 事 長 土 持 良 栄

千 葉 県 茂 原 市 下 太 田 一 五 六 五

〒299-41 〇四七五(三四)三五八二  
萬光寺内

沖縄県仏教会

会 長 藤 井 深 忍

副 会 長 糸 数 真 人

会 計 田 原 法 順

書 記 善 国 乘 憲

那 覇 市 安 里 三 十 八 神 徳 寺 内  
〒902 〇九八八(六七)五八九四

# 謹 賀 新 年

## 真言宗東寺派宗務所

管 長 草野栄龍  
 宗 務 長 吉川律城  
 教 学 部 長 大野大雅  
 財 務 部 長 真田快尊  
 庶 務 部 長 北川亮暁  
 宗 議 会 議 長 片岡実雄  
 〃 副 議 長 岡田教果  
 予 算 決 算 委 員 長 勝田卓禅  
 教 学 委 員 長 峯孝雅  
 広 報 委 員 長 藤井良晃  
 審 議 会 会 長 井上信祐

京都市右京区西京極葛野町四  
 〒615 〇七五(三二二)二〇一七

## 臨濟宗建長寺派 大本山 建長寺

管 長 中川貫道  
 宗 務 總 長 本場大龍  
 總 務 部 長 高橋義寛  
 法 務 部 長 雷文哲  
 教 学 部 長 清田保南  
 財 務 部 長 渡辺尚之

神奈川県鎌倉市山之内八  
 〒247 〇四六七(三三)〇九八一

## 京都市 仏教会

会 長 伴義台  
 副 会 長 横井鶴洲  
 " 葉上照澄  
 理 事 長 小林忍戒  
 事 務 局 長 宮城泰年

京都市左京区聖護院中町一五  
 〒606 〇七五(七五二)六九八八  
 聖護院内

## 日光山輪王寺

門 跡 柴田昌源  
 執 事 長 鈴木常俊

栃木県日光市山内二二〇〇  
 〒321-14 〇二八八(四)〇五三一

## 聖観音宗 金龍山浅草寺

東京都台東区浅草二一三一一  
 〒111 〇三(八四二)〇一八一

## 黄檗宗

宗務総長 盛井了道

奈良県宇治市五ヶ庄三番割三四  
 〒611 〇七七四(三三)三九〇〇

## 東寺真言宗

代表役員 木田宥岳

京都市南区九条町一番地  
 〒601 〇七五(六七二)三七一七

謹 賀 新 年

東京都仏教連合会

会 長 小 峰 順 譽  
理 事 長 桜 井 大 乘

(常務理事)

池月孝文 岩崎宗秀

大伴好雄 郡司博道

小泉顕哲 西城正倫

島崎義雄 白川謙敬

神野真一 関岡賢一

中島真哉 細川信孝

村瀬博道

(監 事)

板橋宥成 小林且昌

多賀谷崇峰

事務局長 畑 直 孝

東京都小平市上水南町五一一  
大仙寺内

〒187 〇四三(二)一〇七五五

神奈川県仏教会

会 長 貝 山 宣 泰

副会長 柴 田 敏 夫

小 崎 竜 雄

塚 田 弘 導

横 山 敏 明

役 員 一 同

神奈川県鎌倉市小町1の12の12  
本覚寺内

〒248 〇四六七(二二) 〇四九〇

日連宗総本山  
身延山久遠寺

山梨県南巨摩都市身延町身延  
〒409 〇五五六(二二) 一〇一一

総本山 知恩院

門 跡 高 島 寛 我

執 事 長 鶴 飼 隆 玄

局内執事一同

京都市東山区林下町四〇〇  
〒605 〇七五(五二五) 二二〇〇

大本山

成田山新勝寺

貫 首 松 田 照 應

千葉県成田市成田一  
〒286 〇四七六(二二) 二二一一

真言宗智山派大本山

高尾山薬王院

貫 主 山 本 秀 順

東京都八王子市高尾町二二七七  
〒193 〇四二六(六二) 一一一五

西新井大師

總 持 寺

東京都足立区西新井一の二五の一  
〒123 〇〇三(八九〇) 二三四五

年 新 賀 謹

茨城県仏教会

会長 大越孝仁  
副会長 秋本義雄  
" 牧田実栄  
" 小林栄雄  
" 土肥浩  
" 中村純崇  
事務局長 小原泰寿  
次長 猪瀬宝山  
外顧問 理事 評議員一同  
本部  
茨城県多賀郡十王町友部一九九〇  
〒313 〇一九(三三)二〇五一  
事務局  
水戸市八幡町十二の六九祇園寺内  
〒310 〇〇九二(二二)五二九

真言宗豊山派  
総本山 長谷寺

化主 築山定誉  
事務局長 永見聖宏  
総務執事 広沢佑好  
法務" 中賢乘  
教務" 小川又信  
財務" 川俣海淳  
東京出張所長 星野有清  
外職員一同  
奈良県桜井市初瀬町七三二の一  
〒633-0107(四四)七七〇〇一

(財)世界平和同願会

理事長 山崎良順

長野県諏訪市霧ヶ峰強清水  
一三三三三八一二七  
電話 〇二六六五(三)四四五五  
(連絡所)新宿区西新宿  
三一四一七  
電話 〇三(三七七)三六六二

財団法人

国際仏教興隆協会

名誉総裁 秦 慧玉  
理事長 巖谷勝雄  
役員一同

東京都目黒区中目黒五二四一五三  
祐天寺内  
〒153 〇三(七一一)七六〇八

真言宗中山寺派

大本山 中山寺

宝塚市中山寺二の十一の一  
〒665 〇七九七(八六)六五一七

財団法人

日本仏教鑽仰会

理事長 中山理々  
東京都千代田区内神田二五六  
亀田ビル内  
〒101 〇三(二五六)四九一一

近代仏教研究会

理事長 壬生照順  
事務局長 小室裕充  
東京都台東区元浅草一十七二  
華蔵院内  
〒111 〇三(八四四)三三六四八



奉仕しなくてはならない。

(3)衣服について—死体からとった衣服  
および古くて破れた衣服を身につけな  
てはいけない。

(4)住居について—山の上、森の中や墓  
地など村の外に住まなくてはならない。

(5)教育について—教育をうけてはいけ  
ない。

(6)食べ物について—他人に依存し、家  
で料理してはいけない。つまり物乞い。

(7)報酬について—穀物のからや破れた  
ベットの動きに対して与えられる。

(8)社会的状態について—だれにも触れ  
てはいけない。屋間は村の中に入つては  
いけない。

その他にも種々の規則があるが、言葉  
をかえれば不可触民は、見ても触れても  
いけないし、不浄な近づいてはならない  
ものと考えられ、不可触民をみたときは

### 「不可触民」の 解放に取り組む

P・P・ガールド氏

「私はアンタチャプル(不可触民)  
の出身です。私たちはさわっても汚な  
い、見ても汚ないといわれて育った。  
学校では教室のすみに追いやられ、お  
びえて小さくなっていった……」  
不可触民の差別状況になると、静の

悪い前兆だとする考えが存在している。

△不可触民の権利回復▽

インド憲法第十七条で「不可触制は廃  
止され、いかなる形式による慣行も禁止  
される。」とあるが、不可触性を定義つ  
けていない。この法の特徴は、ヒンズー教  
徒だけを対象にするものではないという  
点である。

(宗教的無権利の克服) 不可触民は誰  
でも、同じ宗教を信仰し、公共の礼拝所  
も自由に出入りできる。

(社会的・経済的無権利の克服) いか  
なる場所、施設にも入ることができる。  
いかなる職業、仕事にもつづける。とし  
ても住居を建てることもできる。いかなる  
宗教行事も参加できる。

同様に教育機関も開かれ、不可触性の  
廃止という理念にもとづいて、いかなる  
人間も、他の人間が与えられた権利を行  
う。から激しく燃える「動の人」にな  
る。

インドの人口約六億。うち一億人が  
憲法で身分制は廃止されたといなが  
ら「不可触民」として、ひどい差別状  
況におかれており、この中であつて解  
放運動に立ちあがった仏教徒である。

ヒンズー教は? 「人間に平等はな  
いという宗教が人権を認めるでしょ  
うか。仏教は? 「万民平等の宗教」じ  
ゃあ、日本の仏教徒の人権感覚は、「語  
りはするが行動をしない……」。

(朝日新聞より)

使することを阻害することは認められな  
い。

△法の実行▽

社会の法体系に関する限り、インドは  
おそろく、もっとも積極的に取りくんで  
いる国の一つといえる。しかし制定され  
た法の実行は、制定されたことで義務を  
果たしたかのような錯覚があり、不可触  
禁止法の効力は、他の法律の中でもっと  
も弱いといえるのではなからうか。

我々は、しばしば悪いニュースを耳に  
し、カーストの人々に対する日常的な非  
道行もあげたらきりがなく今日まで続

## あらゆる差別撤廃へ

国際人権シンポジウム開かる

十二月四日からの人権週間を機に、部  
落問題をはじめとする差別の実態と解放  
運動を世界に訴えるとともに、世界各地  
における実態や運動の経験に学び、広く  
人権擁護運動を展開しようと、六日から  
「国際人権シンポジウム」が開かれた。

このシンポジウムには、外国からもロ  
ジャー・ヨシノ・アリソナ大教授、マー  
チン・カネコ・ウィーン大講師、カトリ  
ーヌ・カドウ・パリ大研究員、ポバトラ  
オ・ガールド・ネル法科大学長なども  
ゲストメンバーとして参加し、全仏から  
も加盟宗派より多数が出席するなど、そ  
れぞれ熱のこもった報告、討議がなされ  
た。

六日は、大阪商工会議所を会場にして

いている。ホテルに入ってなぐられ、学  
校では他の子供と並んですわれないこと  
や、今でも出入りできない寺院もある。

△究極の目的▽

カーストの究極の目的は、人権を確保  
することであり、この実現は国連を通じ  
てはじめて可能となる。したがって多数  
派を占める人々や、カーストによって苦  
しめられた個人の事件を扱う世界共通の  
人権裁判所を設立することはきわめて重  
要である。加盟国の同意にもとづいて憲  
章が手直しされれば、国内的な問題が、  
人権擁護の途上に立ちはたかるといっ  
とは起つてこないであらう。

「諸外国からみた日本の部落問題」をテ  
ーマに、部落解放研究所・原田伴彦理事  
長が「あらゆる差別をなくすことが、人  
類の最大課題である」と基調提案で強調  
したあと、ゲストメンバーの報告などが  
行なわれた。

八日は、同所で「諸外国における差別  
の実態と人権擁護のとりくみ」をテーマ  
に引き続きシンポジウムが行なわれた。

十日は、大阪中央公会堂で集会が開か  
れ、講演のあとアピール採択があった。  
十二日は、東京集会が朝日新聞東京本  
社ホールで開催され、武者小路国連副学  
長などの講演につづいて「一切の差別を  
撤廃し、真の平和確立のため全力をあげ  
る」とのアピールを採択し閉会した。

### 築山管長の晋山式

真言宗豊山派の総本山長谷寺では、十一月十二日午後一時より、築山定誓新管長・化主の晋山式を行なった。

式は川田前管長をはじめ宗内重役の他に真言各山など多数が参列し、法楽等のもと、築山化主が願文表白、垂示を読みあげた。

祝辞は智山派・上野管長、全仏・武田常務理事（浄土宗事務総長）、勝又大正大学長等が次々と述べるなど盛儀であった。

### 村瀬管長の晋山式

黄檗宗の新管長となられた村瀬玄妙下の晋山式が、大本山万福寺で、十一月九日盛大に厳修された。

式は法堂に宗内外一千名が参列、村瀬管長は力強く法語を述べるなど古式に則り厳肅に行なわれ、林田京都府知事、井

出元官房長官等の祝辞も、新官長の徳をたたえるものであった。

### 難民救援寄金

島根県仏教会 六七、〇〇〇円

#### 事務総局録事（十月）

- 三日 ガールド氏講演会
- 五日 局内会議
- 六日 人権シンポジウム（大阪）
- 八日 (〃)
- 十日 (〃)
- 十二日 (東京)
- 十五日 収益事業範囲改正対策委員会
- 十八日 税務対策委員会
- 十九日 同和特別委員会
- 二十日 京都府仏へ
- 二十三日 局内会議
- 二十五日 業務納め

### 表紙の写真 「大荒行」

毎年十一月一日から、翌年の二月十日までの寒中一百日、日蓮宗の大荒行が正中山法華経寺（千葉県市川市）で行なわれる。

そのむかし、日蓮聖人から京都の開教を依頼された日像上人が、日蓮聖人

のあとをついで、難に耐えて正法を弘める我が信力を試すため、鎌倉田井ヶ浜で寒中百日の荒行を行なったのにはじまっている。

午前三時から二時間おきに水をかぶり、身心を淨めて、読経三昧の生活。粥をすすり、薄い衣で寒気に耐え、自らの信力を高めていく。そして得られた信力と経力によって、人を教化していく修法師となる。文字通り命をかけた自行化他にわたる大荒行である。

## 花まつりポスター

\* 4月8日はお釈迦さまのお誕生日

# 花まつり



### 「広く統一してご利用下さい」

花まつりの行事は年々盛大に行なわれていますが、さらに全国的に浸透せしめるため、全日本仏教会では写真のよくな統一したポスターを作成、広くご利用頂けるよう頒布しております。

明るい春の野に静かに立って、天と地をさすお釈迦さまの姿は、見る人の心に安らぎを与えることと思います。

左記の要領にて頒布いたしますので各県仏、郡市仏、各寺院、幼稚園、保育園などで広くご利用下さい。

- ◎サイズ 七四センチ×五二センチ
- ◎定価 一枚 百円
- 送料実費
- ◎申込先 東京都港区芝公園四一七一三 全日本仏教会文部花まつり係

※送付に時間がかかることもありま  
すので、お早めにお申込み下さい。毎  
年ギリギリの申込みで四月八日に間に  
合わないことがありますので……。

昭和五十六年 一月一日発行  
一月号 第二六五号

発行人 日野照護  
編集人 安本利正

発行所 財団法人 全日本仏教会

東京都港区芝公園四一七一三  
電話〇三(四三七)九二七五